

SKYLIGHT	近傍宇宙における分子雲形成の研究最前線		
	徳田一起・小林将人・安部大晟		4
日本天文遺産	天文遺産紹介～臨時緯度観測所本館（現・木村榮記念館）	本間希樹	16
天文教育普及賞	すべての人に星空を共に生きる社会を目指して		
	高橋真理子・跡部浩一		23
天球儀	〈2024年度日本天文学会天文功労賞〉太陽黒点観測	望月悦育	27
シリーズ：アカデミアの外を知る	第4回：「高専教員座談会～高専教員の仕事について知ろう！～」		
	実施報告	佐藤大仁	32
シリーズ：天文学者たちの昭和	日江井榮二郎氏ロングインタビュー		
	第10回：東京天文台の改組	高橋慶太郎	38
追悼	追悼 小暮智一先生		
	小暮智一先生を偲んで	太田耕司	48
	追想	大谷浩	49
	小暮さんを偲んで	加藤正二	51
	小暮さんの助手時代	若松謙一	52
	大宇陀アトラスの思い出	作花一志	54
	小暮先生の思い出	岡村定矩	55
	追悼 小暮先生	仲野誠	57
	小暮智一先生との思い出	立松健一	58
	小暮先生の思い出	山田亨・富田晃彦	59
	美星天文台の初代天文台長、小暮さんの思い出	大島 修・綾仁一哉	61
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書		
	<i>Solar Atmospheric Abundances in Space and Time & Lecture at Northumbria University & Hinode 18-IRIS 16 Meeting conference 2025</i>	石神瞬	63
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書		
	<i>The DIAS-CDY workshop on Gamma-ray Loud Binaries</i>	米田浩基	64
月報だより・寄贈図書リスト			67

【表紙画像説明】

臨時緯度観測所本館は、1899年に設置された水沢緯度観測所の最初の建物で、2024年度の天文遺産に認定された。現在は国立天文台水沢VLBI観測所の管理のもと、緯度観測所初代所長・木村榮の業績を顕彰する木村榮記念館として一般開放されており、常時見学が可能である。右の木村榮の肖像画は当記念館の展示物の一つで、岩手県出身の画家・橋本八百二による。肖像画の背景には木村たちが測定していた地球の極運動の様子が描かれている。

【表紙デザインコンセプト】

私たちの暮らしと天体との関わりをテーマに、季節感のある表紙をお届けしていきたいと思います。絵のモチーフになっている天体や、季節行事を想像して楽しんでいただけると幸いです。

【今月の表紙デザイン】

12月の「冬至」をテーマに描きました。冬至には南極側の傾きが太陽方向に傾き、北半球で昼の時間が最も短くなります。一方、南半球では、逆に昼が最も長い日になります。南半球の12月を想像してみたいかなよう、描きました。